

第3回鎌ヶ谷市観光ビジョン策定委員会 会議録

- 1 日 時 令和5年9月5日（火）午後1時30分～午後2時05分
- 2 場 所 鎌ヶ谷市役所5階 501会議室
- 3 出席者（敬称略）

委員 長	秋山 秀一	元東京成徳大学教授
副委員 長	酒井 学	(株)ジェイコム千葉 東関東局 局長
委 員	荒井 修光	(株)ファイターズスポーツ&エンターテイメント 鎌ヶ谷事業部副部長
委 員	渋谷 直	新京成電鉄(株) 地域政策担当課長
委 員	丸山 剛史	北総鉄道(株) 取締役 企画室長
委 員	井手 勝則	鎌ヶ谷市商工会長
委 員	甲斐 貴子	一般社団法人鎌ヶ谷マネジメントラボ代表
委 員	久米 舞子	市民代表
委 員	利重 和彦	市民代表

(欠 席)

委 員	池澤 孝信	東武鉄道(株) 新鎌ヶ谷駅長
委 員	川村 誠司	鎌ヶ谷市観光農業組合長

【事務局】

五月女商工振興課長、岡本係長、平澤主査、川村主事

- 4 傍聴者 2名
- 5 内 容

- (1) 開会
- (2) 議題

- ・鎌ヶ谷市観光ビジョン案について
- ・キャッチフレーズについて
- ・その他

【議題1 鎌ヶ谷市観光ビジョン案について】

(事務局)

前回までの委員会における意見を踏まえて、事務局で案の最終版を作らせていただいた。

当初の案から修正した部分を、一部を除き緑色のマーカーをつけている。一部というのは、何年という所を西暦と和暦の併記とした点と、グラフや表の出典について、いつどこがやったアンケートなのかを明記した点については、数が多いので緑色のマーカーをしていない。

まず目次だが、第2章3の(5)鎌ヶ谷市の知名度については、「認知度」としていたものを「知名度」に修正した。

また、第4章の3を「推進体制」としていたものを「3 観光の推進」として、(1)

推進体制、(2) 推進体制の強化と分けた。

続いて17ページ、「認知度」を「知名度」に、「認知していない」を「知らない」に、それぞれ修正した。

続いて27ページ、基本理念について、前回の委員会で「Be-Kamagaya」がよくわからないという意見が多々あった。「Be-Kamagaya」については、鎌ヶ谷らしさを追求していこうという意味でつけていたが、鎌ヶ谷らしさのさらなる追求というワードが書かれており、削除しても意味は変わらないため、「Be-Kamagaya」は削除した。

続いて29ページ、2数値目標で、(1) 観光入込客数、前回空欄になっていた部分の目標値を45万人とした。これは、観光ビジョンの上位計画である鎌ヶ谷市総合基本計画・前期基本計画で、コロナ禍前の令和元年404,175人だったものを基準に、令和8年までに41万人に戻すことを目標としていることと整合性を図り、更に今年から対象イベントとなったスリランカフェスティバルや、アクションに掲載している梨のイベントなどの実施を見越して45万人とした。

(3) 小売吸引力指数では、同じく空欄になっていた部分の目標値を0.9以上とした。本来であれば、他市から買い物客を吸引しているとされる1以上を目標とすることが望ましいが、現状、比較対象都市12市をみると、現在本市は低い方から2番目で0.68となっており、1を超えている市は上位3市のみとなっている。そのため、まずは中位の目安である0.9を目標とした。

続いて31・32ページ、第4章28のアクション、「1 アクションの体系図」だが、ここでは名称等の修正点のみ説明させていただき、次の「2 具体的アクション」で詳細は説明させていただく。

まず、施策1-2観光基盤の整備・充実の中にアクション6「デジタル技術の活用」を追加した。

アクション16「特色を活かしたマップの作製」を「ガイドマップの作製」に修正した。

アクション20「新たな鎌ヶ谷グルメの開発」を「鎌ヶ谷グルメの推進」に修正した。

アクション25「北海道日本ハムファイターズを共有資源とする自治体との連携」を「北海道日本ハムファイターズや関係自治体との連携」に修正した。

アクション26「商業者との連携」を「事業者との連携」に修正した。

アクション13「農業体験」とアクション27「職場見学(体験)」をひとつにまとめ、アクション27「職場見学(体験)・農業体験」とした。

続いて33ページ、「2 具体的アクション」についてだが、アクション2「市内を巡る仕掛けづくり」では、スタンプラリーとしていたところをデジタルスタンプラリーに修正し、ほかにも様々な方法があるので「など」を追記した。

続いてアクション6「デジタル技術の活用」では、前回の委員会で、メタバースやAIポスターなど様々なデジタル技術を活用したアクションの提案があったのですが、現時点でどのデジタル技術を活用していくか判断ができないため、「デジタル技術の活用」という新規のアクションにまとめ掲載することとした。なお、皆様に事前にお渡ししている資料では、主な担当課を「無し」としていたが、担当課がな

いというのはいかがなものかというところもあり、また、観光DXの推進といったところをうたっているため、主な担当課としては、商工振興課とした。ただし、デジタル技術の活用である点や交流人口の増加や知名度の向上といったことも挙げられているため、取組としては全庁的な取組になってくる。

続いて36ページ、「13観光タウンミーティング」では、行政が抜けていたため、市民・事業者に行政を加えた。

続いて37ページ、16「ガイドマップの作製」では、飲食店情報を掲載する理由として、地域経済への波及効果ということを追記した。

続いて38ページ、20「鎌ヶ谷グルメの推進」では、修正前は「高校と協力」としていたが、高校に限定せず教育機関とし、言い回しも少し修正した。

続いて39ページ、25「北海道日本ハムファイターズや関係自治体との連携」だが、修正前は「北海道日本ハムファイターズを共有資源とする自治体との連携」と、自治体との連携に限定していたため、北海道日本ハムファイターズや関係自治体というように修正した。

続いて40ページ、27「職場見学（体験）・農業体験」は、もともと「職場見学（体験）」と「農業体験」とで、アクションを分けていたが、農業者も市内事業者であり、連携を図り、地元事業者への愛着の増進を図るという意味では同じなため、ひとつのアクションにまとめた。

最後に41ページ、「3観光の推進について」だが、修正前は「3推進体制」として、42ページ右下の表が書かれていたが、推進体制としては説明が不十分であったため、(1)推進体制、(2)推進体制の強化と分けて記載した。

まず「(1)推進体制」で、「市民」「事業者」「行政」の3者の役割、そして3者が相互に連携していく必要があるということを記載した。この図については、イラストで表現する予定である。

次に「(2)推進体制の強化」とし、先ほどの表とその説明を入れた。市への高い愛着度を持っていただくことで、その方々が情報発信等をして、土台となる市を知る人が増えるという好循環が生まれるが、愛着度は段階的に深まるものなので、愛着度を段階別に分けて表のように整理した。

(委員長)

ただいま事務局から説明があった内容について、何か意見・質問等はあるか。

(井手委員)

38ページ、アクション20「鎌ヶ谷グルメの推進」の中に「北海道日本ハムファイターズをはじめとする」とあるが、ファイターズの役割というのは、ファームでの選手の育成が一番で、鎌ヶ谷グルメの推進ではないのではないかと。鎌ヶ谷市の商工会や商店会、ふるさと産品協会など市内には協力できる可能性があるお店が沢山ある。

(事務局)

ご意見を踏まえて、事務局としては、「北海道日本ハムファイターズをはじめとす

る」を取ることを提案させていただく。

(委員長)

委員に意見がなければ、事務局には提案のとおり修正していただきたい。

【議題2 キャッチフレーズについて】

(事務局)

キャッチフレーズについては、前回の委員会の際に職員提案の9個の案に投票をしていただくとともに、新規のキャッチフレーズを募集した。

まず、職員提案のキャッチフレーズ案では、委員の皆様からの票が入った上段の番号1、2、7、9の4つに絞った。また、皆様から10個のキャッチフレーズの提案があり、併せて14個のキャッチフレーズ案となったが、今後、職員投票を実施して1つを選んでいきたいと思っている。

そして、選ばれたキャッチフレーズを、先ほどの鎌ヶ谷市観光ビジョン案に入れ込んだものを、本委員会で策定した案として、今後庁内会議や、パブリックコメントの手続に入らせていただきたいと思いますと思っている。

(委員長)

それでは、まずはキャッチフレーズを職員投票で決めていただき、先ほど説明のあった修正版の観光ビジョン案に入れ込んだものを、本委員会で策定した「鎌ヶ谷市観光ビジョン案」としてよろしいか。

(委員)

異議なし。

【議題3 その他について】

特になし。

(3) 今後について

(事務局)

まずは近日中にキャッチフレーズの職員投票を行い、キャッチフレーズを決定する。その後、庁内会議、11月にパブリックコメントを実施するなど、いくつかの会議を経て、来年3月には完成させ、委員の皆様にお配りしたいと考えている。

(委員長)

委員皆様のご協力のもと、本日をもって委員会としての鎌ヶ谷市観光ビジョンの案を取りまとめることができた。

それではこれをもって第3回観光ビジョン策定委員会を閉会する。

(4) 閉会

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和5年9月12日

氏名 秋山 秀一 _____

氏名 荒井 修光 _____